



きらりん えがお

令和4年10月18日

平田幼稚園

園長 田中佳江

10月も半ばを過ぎると、秋の気配が色濃くなってきました。朝夕の冷え込み、園庭に舞い落ちる色とりどりの落ち葉……。きっと足早に過ぎ去るであろうこの秋の自然を五感で感じ取りながら、子ども達は園庭で思う存分体を動かしたり、友達と遊んだりして園生活を楽しんでます。

一の谷公園へ秋の遠足に行きました

13日(木)は、みんなが楽しみにしていた一の谷公園への遠足。雲もほとんどないくらいの青空が広がり、子ども達は美味しいお弁当とおやつをリュックサックに詰めて、バスに乗って出発しました。一の谷公園へ到着し、トイレを済ませ、荷物を置くと、まずはオリエンテーリングです。『ハロウィン』『つき』『ながれぼし』『どんぐり』『きいろチューリップ』『にじ』の6つのグループに分かれるのですが、これはもう幼稚園で一回オリエンテーリングを経験しているので、年長児がさっと年少児の手をつないだり、年中児が自分から集まったり、「〇君、こっちだよ」と名前を呼んだりして、早く集まることができました。ここから先生の指示を聞いて自分達でミッションをクリアしなくてはなりません。先生の指示は3つ。「必ずチームの友達全員で動くこと」「3つのポイントがあるので、そこにいる先生に言われたことができたならシールをカードに貼ってもらうこと」「3つシールが集まったら、園長先生を探してご褒美シールをもらうこと」年長児は一生懸命説明を聞いていました。そして、ポイントが書いてある地図をチームに一枚ずつもらって、オリエンテーリング、スタート!!「あっちへ行ってみよう」と勢いよく出発するチーム、まずは地図を見て「どこから行く?」と相談するチーム・・・と様々でした。園内のオリエンテーリングでの経験から、「みんなで手をつなぐと、バラバラにならない」ことが分かったり、年長児が「一の谷公園は広いから大変だわ・・・」としっかり年少・年中児を連れて歩く意識が芽生えていたりしたので、どのチームも全員で、あるいは2~3人で手をつないでチームで動くことができていました。ミッションは、「滑り台をすべること」「クイズに答えること」「秋の宝物(木の実や葉っぱ)を3つ集めること」でした。「やったー、一つクリア!」「次はどこへ行く?」と嬉しそうな声や、元気よく走り出す姿が見られました。どの場面でも、チームの仲間と一緒に笑顔でいっぱいでした。時々、はぐれてしまいそうになることもあったけど、「おーい、△ちゃん」と探しに行ったり、「手をつないでね」と声をかけたりする年長児のリーダーシップが発揮され、無事にみんな揃ってゴールすることができました。その時の嬉しそうな顔!!!自分達でミッションをやり遂げた満足感にあふれていました。「楽しかったけど、疲れた・・・」と年長児がつぶやいていましたが、それだけ責任感をもって取り組んだということなのでしょう。年少児は、年中・年長児と一緒に歩いたりシールをもらったりする楽しさ、年中児は、年長児の言うことも聞きながら自分でも考えて動こうとする意欲、年長児は、どうしたら年少・年中児が話を聞いてくれるか、離れ離れにならないように歩けるか考え行動する大変さと、最後までやり切った満足感を感じることができたと思います。私たち職員は、そうした気持ちや姿勢が育つように、事前に練習したり、当日も安全には十分に配慮しながら、子ども達を信じて見守りました。

無事オリエンテーリングが終わると、各クラスでロープや網を使って斜面上りに挑戦したり、年長児はがけ上りに挑戦したりし、一の谷の自然を満喫しました。存分に遊んだ後は、チームで丸くなってお弁当タイム。おなかがすいていたので、パクパクと美味しそうに食べていましたよ。



チームで出発!!「離れちゃだめだよ」



「次は、あっちへ行ってみよう」



「クイズ、みんなで考えようね」

土手すべり、楽しかったよ

11日(月)は、西代橋たもとで土手すべりをしました。新型コロナウイルスの影響や天候の関係などで、昨年・一昨年と行っておらず、全学年初めての土手すべり体験となりました。思い思いの絵を描いた段ボールを準備してもらい、いざ土手へ着くと、その急斜面にドキドキしたようです。担任に「ここに乗って」「紐から手を放さずに」「なるべく上を向くとよくすべるよ」など、すべり方やコツを教えてくださいました。最初は恐る恐る、足で斜面をけってすべるような感じでした。何回か繰り返すと、さすがは年長児！早くもコツをつかみ、スピードを出してすべるようになりました。その様子を見て、真似っこしてすべる年中児と年少児も、徐々に上手にすべるようになってきました。「キャー！」「おもしろーい。もう一回やろう」と、すべっては斜面を駆け上り、繰り返すべってスピード感やスリル感を味わっていました。



「うわー、スピードが出るー！！」(年長児)「楽しいね、みんなですべろう」(年中児)「なかなかすべらないなあ」(年少児)

安全教育に取り組んでいます

12日(火)は、防犯訓練と防犯教室を行いました。出雲警察署生活安全課から3名、子ども安全センターから1人、平田交番から1人来ていただき、最初は不審者が幼稚園の敷地内に侵入した時の訓練をしました。園庭でぐんぐんタイムをした後、不審な人物が西側フェンスから入る、という想定で行いました。不審者と対応する職員、子ども達を安全に保育室へ避難させ、鍵をして不審者が侵入できないようにする職員と、臨機応変に対応できる訓練を行いました。不審者を見つけたら子どもを安全な場所へ避難させること、警察へ通報し不審者を刺激しないように自分の身も守りながら敷地内から出すこと、場合によっては近隣へ応援を頼むこと等を確認しました。防犯教室では、「イカのおすし」・「ついていけない」「車にのらない」「おお声を出す」「すぐ逃げる」「しらせる」を大型絵本やパネルを使って教えてくださいました。その後、年長児4人が、実際に知らない人に声をかけられる状況で教えてもらったことが行動に移せるかをやってみました。とても上手に「いやだ」「いけない」と言って逃げたりできました。

今、世の中ではいろいろな悲しい事件も起こっています。いざという時に『大事な命を自分で守る』ために、ぜひうちでも話題にしてみてください。

11日(月)から、横断歩道での立哨、バス添乗を保護者の方をお願いしています。子ども達が交通ルールやバスの約束を守れているかどうか、実際に見ていただいたり、声をかけていただいたりすることは、安全な通園ができるようになるためにとても大切なことと考えています。ご多用の中、ご協力いただきありがとうございます。



防犯教室「イカのおすし」を覚えよう



ロールプレイで知らない人に声をかけられ「いやだ」と言ったり、特徴をおまわりさんに伝える年長児



横断歩道での立哨